

岩手県感染症週報

平成15年第14週（3月31日～4月6日）

岩手県結核 感染症情報センター

第14週の概要

1 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

2 類感染症

- ・二戸地区から細菌性赤痢の報告が1例ありまし
た。患者は60代の男性で感染経路は不明です。

3 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

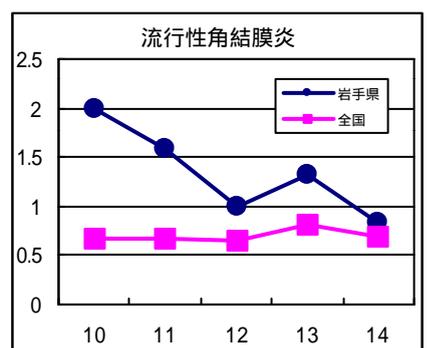
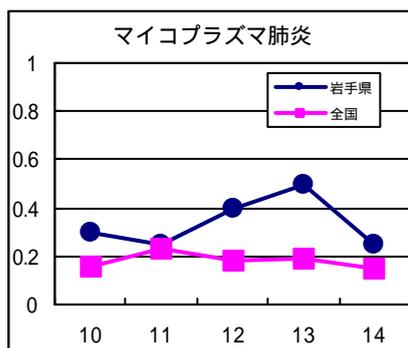
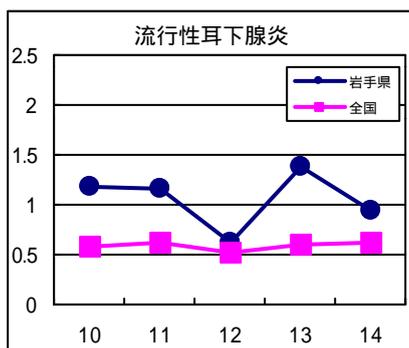
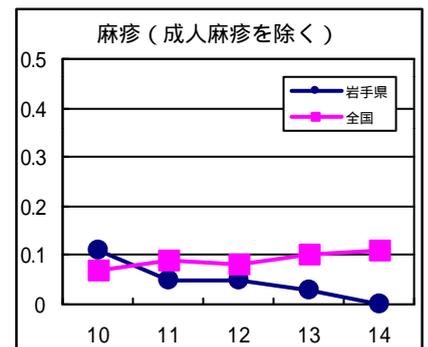
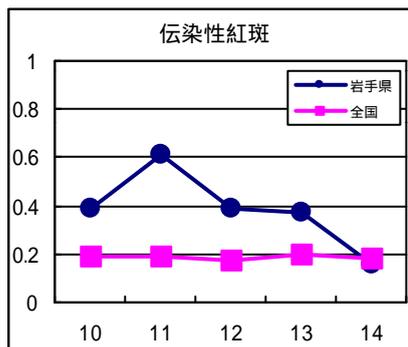
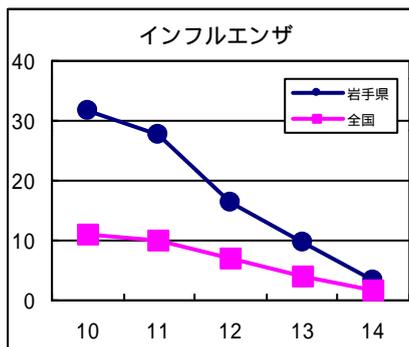
4 類感染症（全数把握対象疾患）

- ・北上地区から梅毒の報告が1例ありました。患
者は40代の女性です。
- 4 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・インフルエンザはこの週には大きく減少し、県内の定点あたり患者数は、前週の9.5から3.3となりました。県内で注意報または警報（定点あたり患者数はそれぞれ10.0と30.0）が発令されている地区はありません。しかし、小・中学校では新学期が始まっていることもあり、学校などでの集団感染の予防のため、うがい・手洗いなどの励行が重要です。
- ・流行性角結膜炎は前週、盛岡地区で患者数が増加しましたが、この週には減少しました。数週間前まで患者数が多かった久慈地区でもこの週は増えていません。
- ・一関地区で患者の発生が続いていた麻疹は、この週には患者の発生がありません。
- ・流行性耳下腺炎は前週、県内ほとんどの地区で患者数が増加しましたが、この週にはやや減少しました。しかし、花巻、大船渡、二戸地区ではさらに増加しているので注意が必要です。
- ・前週まで増加傾向にあったマイコプラズマ肺炎はこの週には減少しました。
- ・北上、釜石地区で流行していた伝染性紅斑は減少しています。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向
		10	11	12	13	14	
インフルエンザ	岩手県	31.55	27.63	16.42	9.53	3.31	↘
	全国	11.14	9.84	7.1	4.14	1.6	
咽頭結膜熱	岩手県	0	0	0	0	0.05	→
	全国	0.08	0.09	0.07	0.08	0.07	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.84	0.61	0.71	0.68	0.45	↘
	全国	1.32	1.4	1.25	1.04	0.88	
感染性胃腸炎	岩手県	3.87	3.95	2.66	2	2.61	→
	全国	9.67	9.91	8.61	7.7	6.34	
水痘	岩手県	1	1.29	1.18	1	1.16	→
	全国	1.85	1.83	1.73	1.86	1.81	
手足口病	岩手県	0.03	0	0	0	0	→
	全国	0.11	0.15	0.11	0.12	0.13	
伝染性紅斑	岩手県	0.39	0.61	0.39	0.37	0.16	↘
	全国	0.19	0.19	0.17	0.2	0.18	
突発性発疹	岩手県	0.34	0.58	0.45	0.5	0.21	↘
	全国	0.63	0.68	0.62	0.69	0.75	
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	
風疹	岩手県	0	0.05	0	0.05	0	→
	全国	0.02	0.03	0.02	0.03	0.04	
ヘルパンギーナ	岩手県	0.03	0	0	0.03	0.03	→
	全国	0.03	0.04	0.04	0.05	0.05	
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0.11	0.05	0.05	0.03	0	↘
	全国	0.07	0.09	0.08	0.1	0.11	
流行性耳下腺炎	岩手県	1.18	1.16	0.61	1.39	0.95	→
	全国	0.58	0.62	0.52	0.6	0.62	
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.02	0.03	0.02	0.02	0.04	
流行性角結膜炎	岩手県	2	1.58	1	1.33	0.83	↘
	全国	0.67	0.67	0.65	0.82	0.69	
急性脳炎（日本脳炎を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0	0	0	0.01	
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.01	0	0	0.02	0.01	
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.02	0.02	0.01	0.02	0.03	
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.3	0.25	0.4	0.5	0.25	↘
	全国	0.16	0.23	0.18	0.19	0.15	
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0	0.01	0	0	0.01	
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→
	全国	0.02	0.03	0.02	0.03	0.03	

全数把握対象疾患（過去5週の動き）

（患者発生数）

分類	疾病名	岩手県					全国		
		10	11	12	13	14	累計	14	累計
一類感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	8
	細菌性赤痢	0	0	0	0	1	7	6	134
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	20
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	2	9
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	9	114
四類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	1	2	124
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	1	5
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	1	1	12
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性ウイルス性肝炎	0	1	0	0	0	3	13	243
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	2
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	1	28
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	23
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	10	216
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	14
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	1	8
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	0	0	30
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	7
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳児ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0	1	1	5	118
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	17
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	18
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	2	21
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	0	35	
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

注）13週に報告のあった後天性免疫不全症候群1例は、報告基準を満たしていなかったため削除しました。

今注目の感染症

重症急性呼吸器症候群（SARS）

[概要]

重症急性呼吸器症候群（SARS）について、世界保健機関（WHO）は4月10日までに、世界19カ国・地域でこれまでに2781人が感染し、111人が死亡したと発表しました。

昨年11月1日から、これまでにWHOに報告された各国のSARS患者数と死亡者数の内訳は以下のとおりです。

		：死亡を含む患者数（死亡者数）	
ブラジル：2（0）	カナダ：97（10）	中国：1290（55）	
香港：998（30）	台湾：19（0）	フランス：4（0）	
ドイツ：6（1）	イタリア：3（0）	クウェート：1（0）	
マレーシア：3（1）	アイルランド：1（0）	ルーマニア：1（0）	
シンガポール：126（9）	スペイン：1（0）	スイス：1（0）	
タイ：7（2）	英国：5（0）	米国：154（0）	
ベトナム：62（4）			

4月8日までに地域内での感染の伝播が確認された地域は以下のとおりです。

カナダ・トロント 中国・広東省 中国・山西省 香港特別行政区
台湾 シンガポール ベトナム・ハノイ

[病原体]

SARSの主な原因とみられるウイルスが新種のコロナウイルスであることを、日本など9カ国の11機関が参加しているWHOの研究協力ネットワークが確認し、「SARSウイルス」と命名されました。検査方法はこのネットワークで開発中で、これから実際の患者に適用し、精度を高めていく段階です。

[症例定義]

厚生労働省は4月8日、SARSに関して症例の報告基準を以下のとおり決めました。

疑い例

2002年11月1日以降に以下の全ての症状を示して受診した患者で

- ・38度以上の急な発熱
- ・咳、呼吸困難感などの呼吸器症状

かつ、以下のいずれかを満たす者

- ・発症前10日以内に、SARSの発生が報告されている地域に旅行した者
- ・発症前10日以内に、SARSの症例を看護・介護するか、同居しているか、患者のきどう分泌物、体液に触れた者

可能性例

疑い例であって

- ・胸部レントゲン写真で肺炎、または呼吸窮迫症候群の所見を示す者

または

- ・原因不明の呼吸器疾患で死亡し、剖検により呼吸窮迫症候群の病理学的所見を示した者

[感染経路など]

SARS患者の咳による飛沫を吸い込むことによる感染がもっとも多いようです。また、空気や汚染された物品を介して感染する可能性もあります。通常の接触では簡単に大勢の人々に感染することはなさそうです。流行地域から帰国した方は、帰国後10日間症状がなければSARSの感染を否定できます。

[予防方法]

感染を防ぐ最善の方法は、石けんと水で頻回に手洗いすることです。もし、石けんと水が手に入らない場合にはアルコール製剤で手を消毒して下さい。また、空気中の微粒子を効率よくカットできる医療用マスクも効果があるようです。

病原体検出情報

- ・インフルエンザの患者の咽頭拭い液からA香港型インフルエンザウイルスを3例検出しました。
- ・感染性胃腸炎の患者の便からA群ロタウイルスを1例検出しました。

集団感染情報

この週には、集団感染情報はありません。

医療機関からの情報

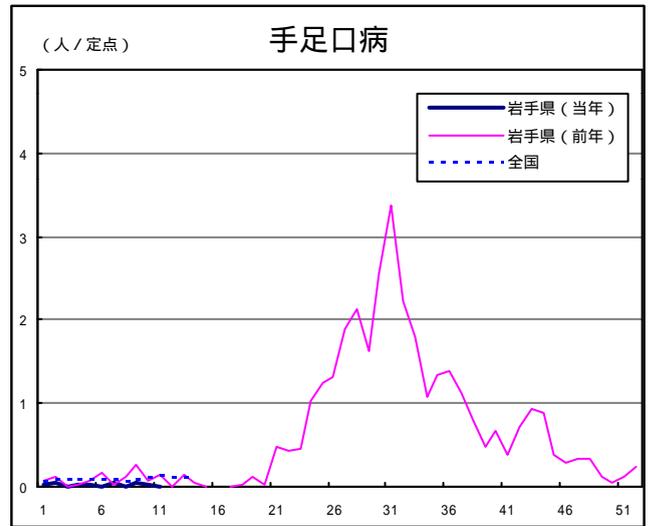
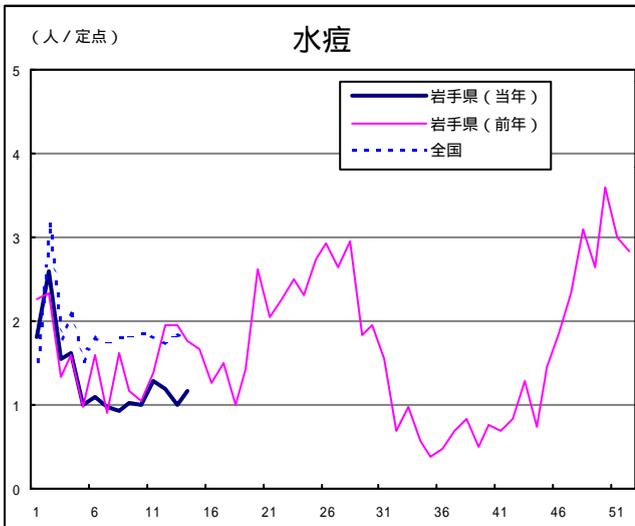
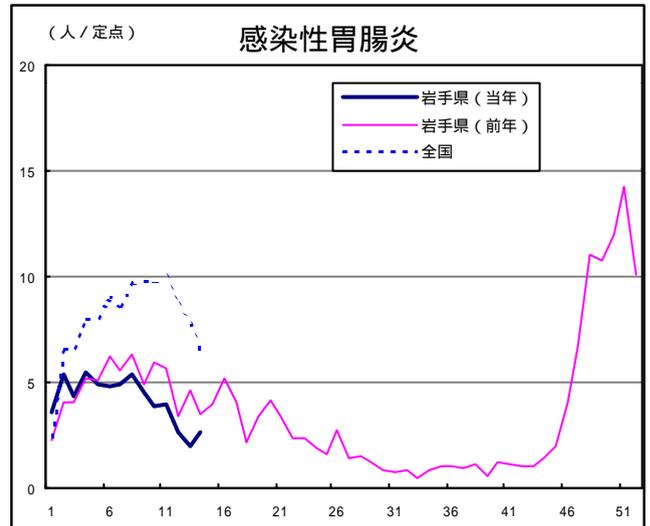
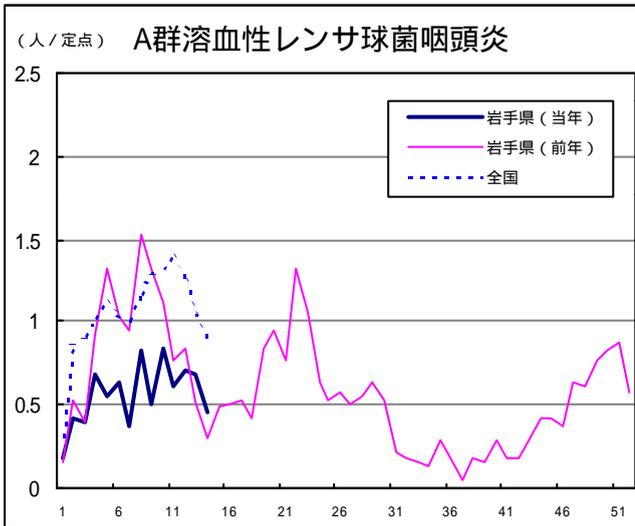
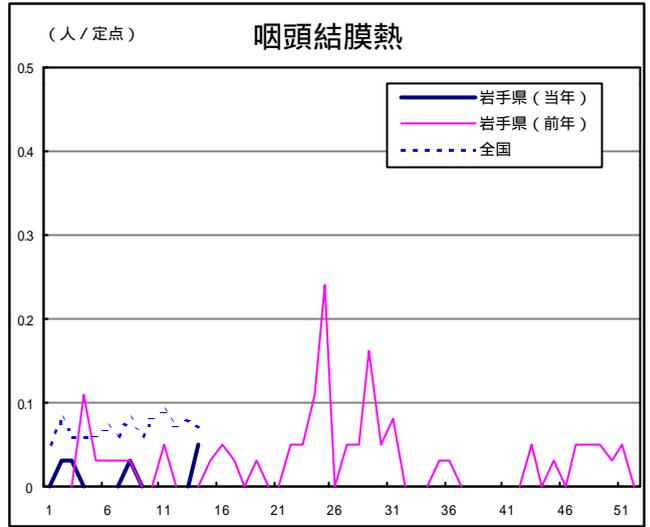
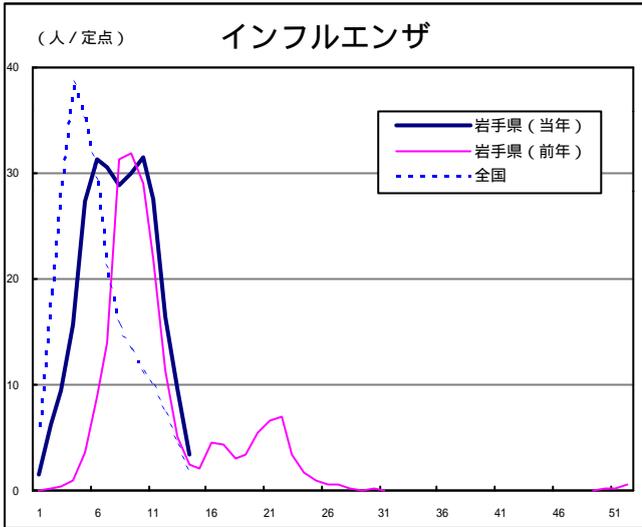
医療機関からの情報はここに掲載します。

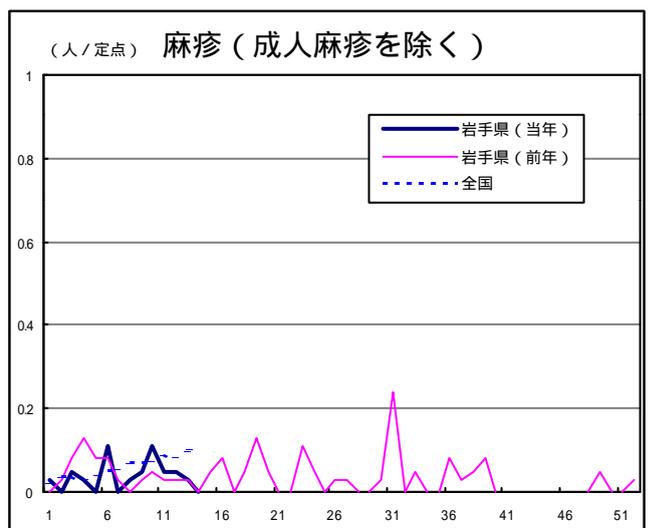
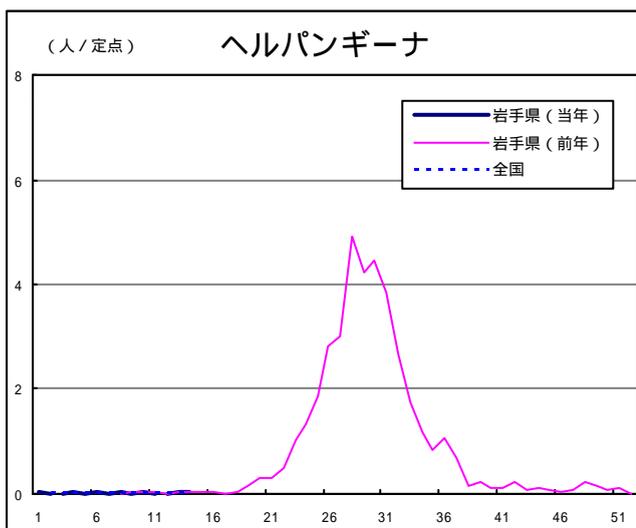
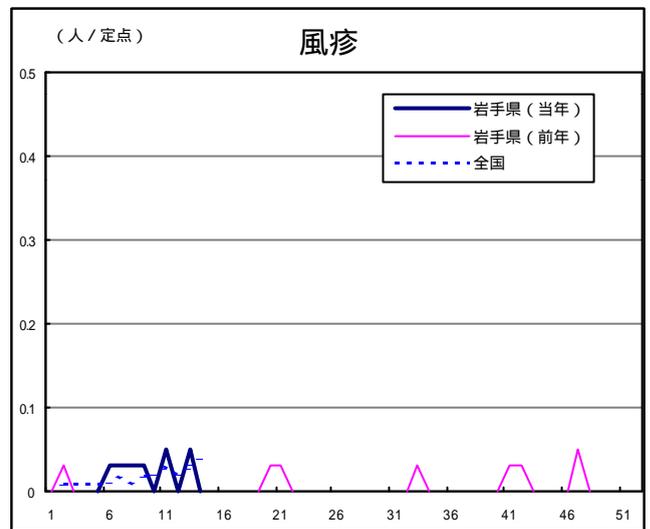
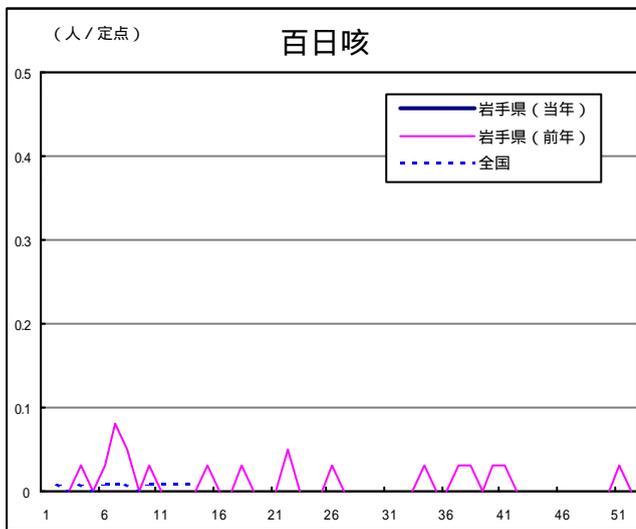
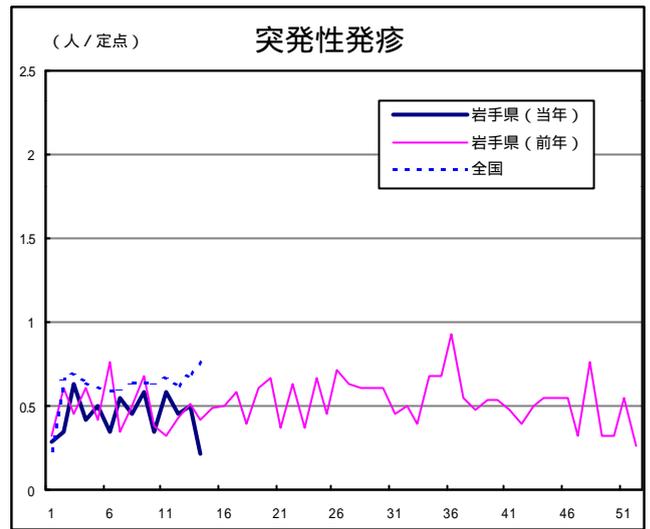
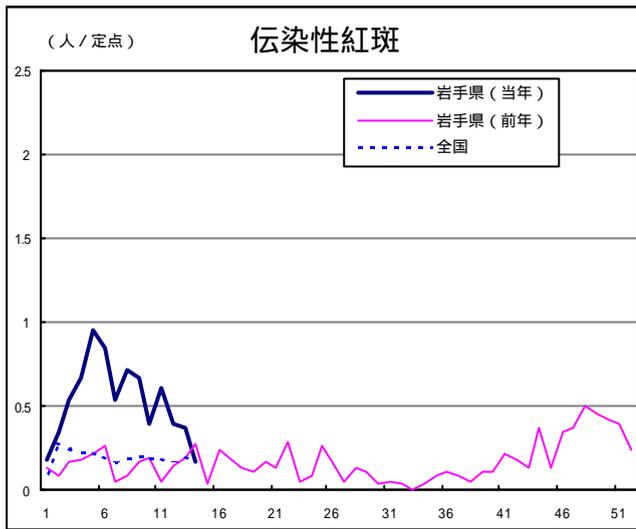
Q & A

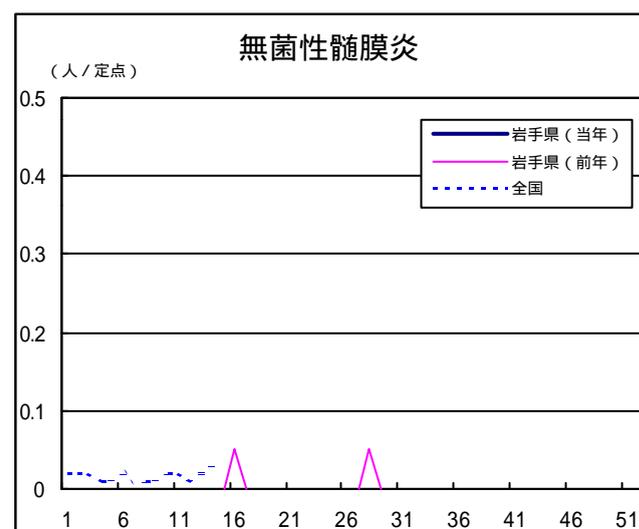
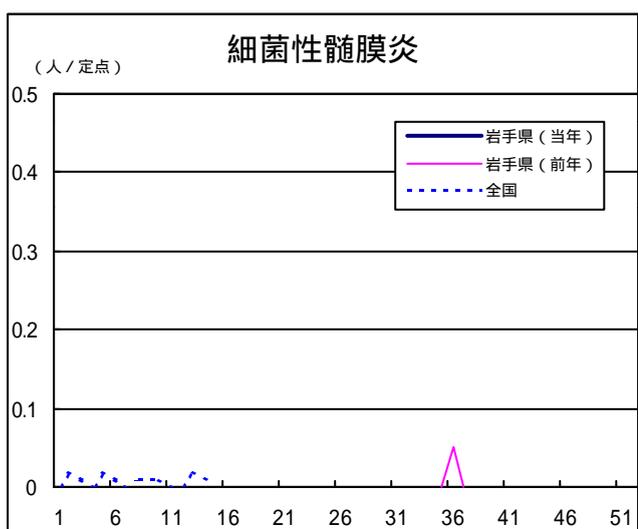
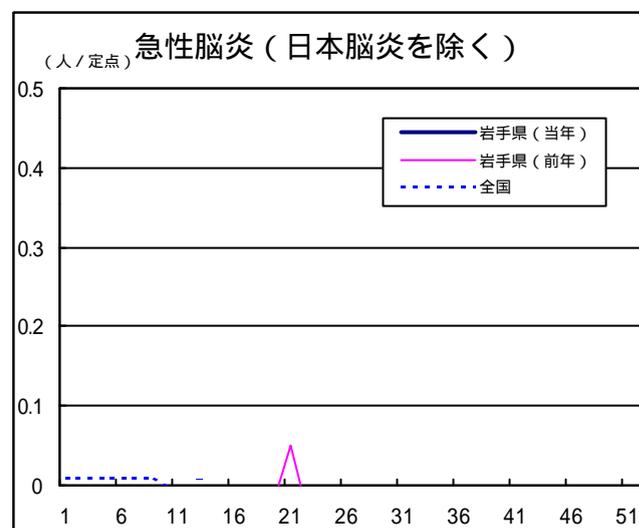
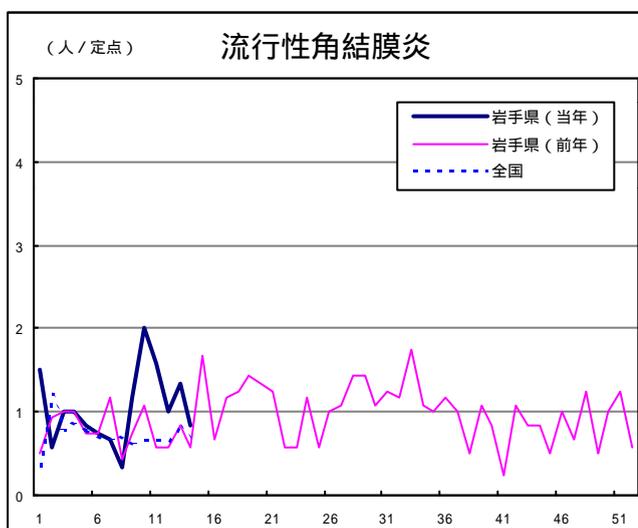
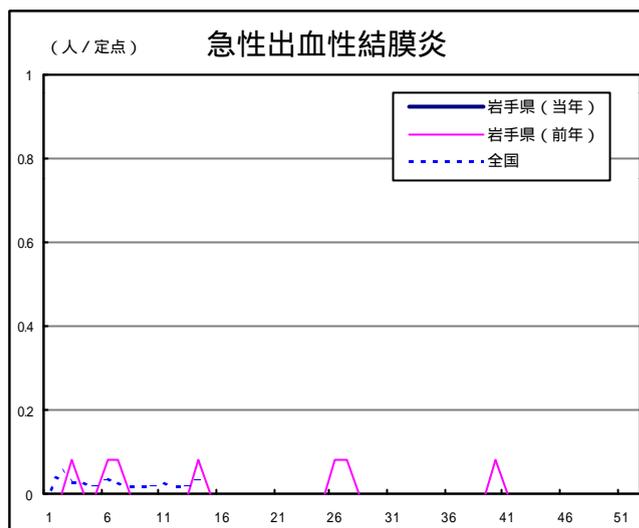
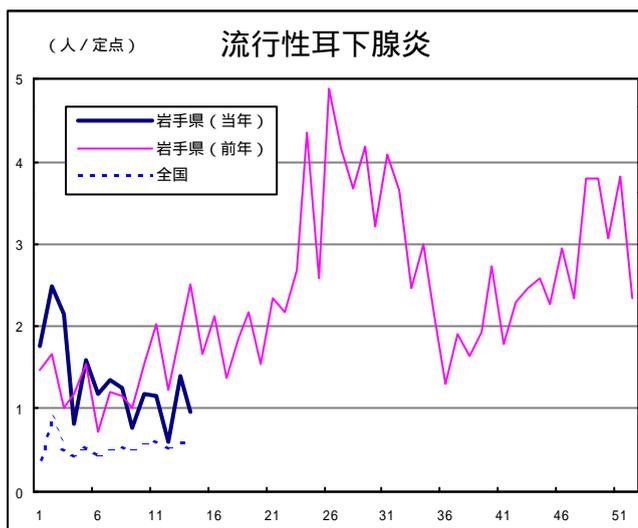
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

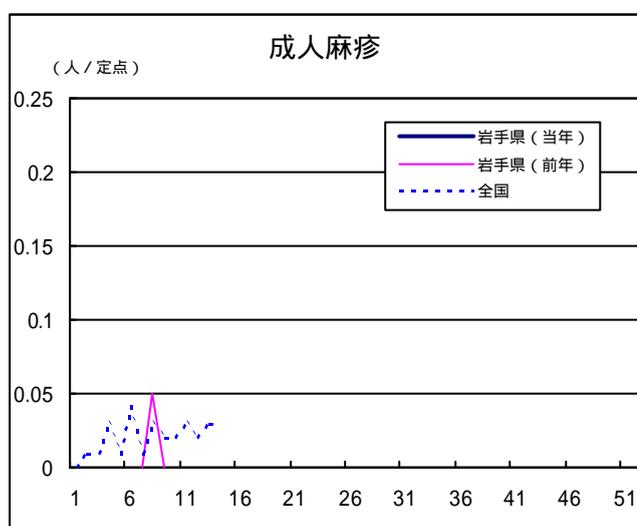
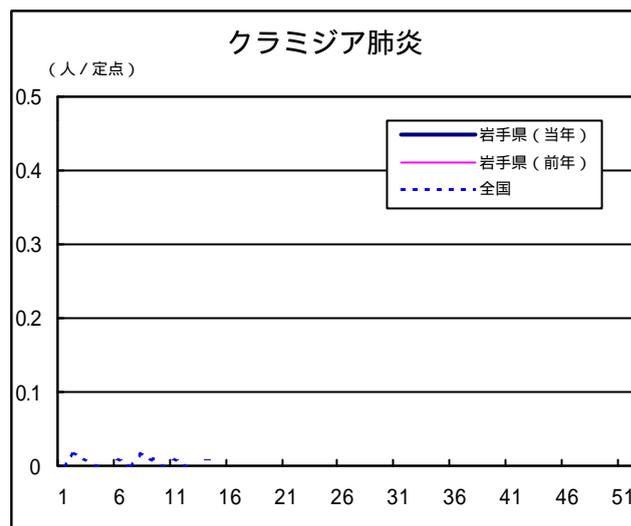
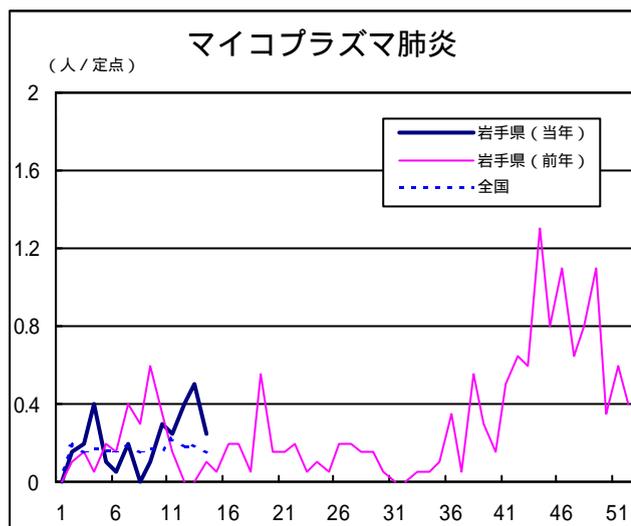
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」の配信を始めました。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成15年第14週 平成15年4月11日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669(直通) FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>